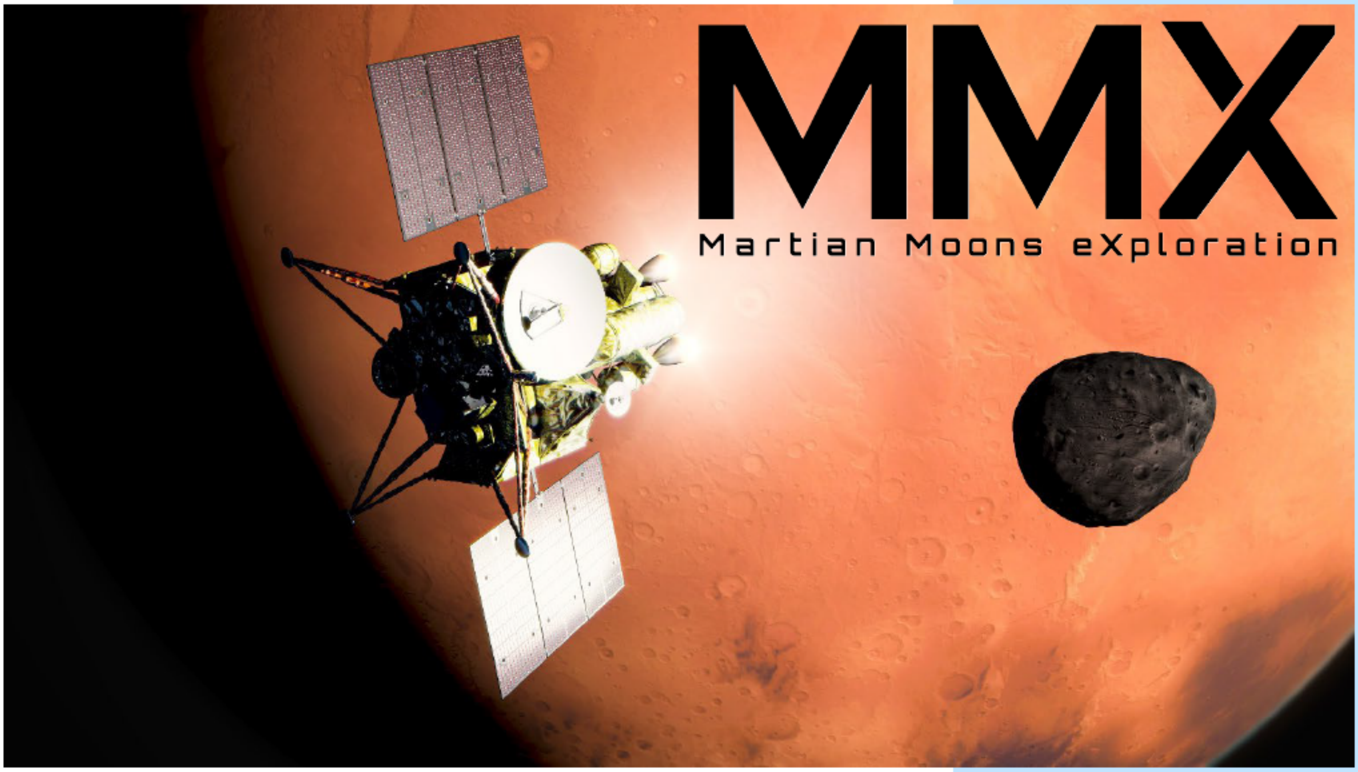
火星の月からのサンプルリターンに挑む

# 火星衛星探査計画「MMX」




## 火星衛星探査計画 MMXとは？

火星衛星探査計画 MMX (Martian Moons eXploration) は、火星の周りを回る衛星を探査するミッションです。探査機はフォボスとダイモスと呼ばれる２つの衛星を周回・観測し、サンプルを回収して地球に持ち帰って詳細な分析を行うことで、原始太陽系における「有機物・水の移動、天体への供給」過程の解明に貢献します。
現在は2024年度の打ち上げを目指して準備を進めています。

## なぜ火星衛星を探査するの？

MMXによって行われる火星衛星探査は、科学と探査技術の2つの面から、次のような目的があります。

●科学

　☆火星衛星の起源を明らかにし、太陽系の惑星がどうやってできたのかを明らかにする

　☆火星圏（火星・フォボス・ダイモス）がどのように進化してきたのかを明らかにする

●探査技術

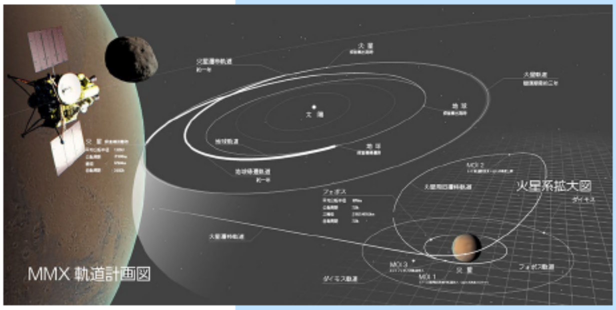
　☆火星圏への往還技術を獲得する

　☆天体表面上での高度なサンプリング技術を獲得する

　☆新探査地上局を使った最適な通信技術を獲得する

## どうやって火星衛星まで行くの？

打ち上げ後約1年をかけて火星圏に到着し火星周回軌道に投入することを考えています。




## チーム長から一言

チームを率いている川勝です。惑星科学や工学の面からも、国際宇宙探査の面からも野心的な計画で、国際的な注目度も高いミッションです。国内外の研究者・技術者が集まり2024年度の打ち上げを目指し、精力的に検討を進めています。よろしくお願いします。

もっと詳しく知りたい人のために
公式サイト http://mmx.isas.jaxa.jp/
Twitterも更新中 @mmx_jaxa_jp



2019.10